

## ふらっぶ通信

第16号

3月11日

滝沢 一人

社会福祉法人  
なつな学園  
サービスマスター  
さびじつぷり

法人からふらっぶに戻る市バスの中で、その瞬間をむかえました。信号待ちで停車している時に僅かな揺れを感じたのは、乗客の中でも私だけだったかも知れません。阪神淡路の時もそうでしたが、私にはあまり意味の無い能力が備わっているように地震の起こる数秒前になんとなく感知できる事が良くあるんです。ほんの数秒前に、あっ地震来る！って程度なんで何を備えることも出来ず、やみくもに怖いだけのはったり徴能力です。この時は事前感知できず微量な揺れを感じたんですが、途中から乗ってこられた乗客が、駅前ビルの上層階に居たように“大きな揺れで東京がえらいことになっていくらしい”って話しているのが聞こえました。気になって携帯で調べてみて関東・東北方面の地震を知りましたが、すぐに事務所に電話を入れましたが、地震の存在すら感知してい

今回「東北地方太平洋沖地震」におきまして被害にあわれた皆様によりお見舞い申し上げます。また犠牲になられた方々並びにご遺族の皆様様に深くお悔やみを申し上げます。真つ黒なオイルのような津波が、長年の生活の中で作り上げてきた様々な物（車や船、ビル等々）を巻き込んで、波受堤防を一瞬で呑みこむ映像をテレビで何度も見ながら、あれは対決の形だったんだなと感じました。どでかい波がやってきても人類はそれをブチ返す力があるんだぞって誇示している形ですね。昔三陸のある地域の波除堤防は横に逃がす八の字形をしていたと何かの本で読みました。とても自然には叶いっこないっていう謙虚な日本人の自然感が反映されていたそうです。しかし何所のころからか科学技術を駆使し、自然と対決する文明を我々は目指し、乗り越えられると信じて疑わず邁進してきたわけですが、今回の震災で対決なんて無理なんだと、とことん教えられた気がします。自然と共に

ない元気な職員の声にホッとしました。帰宅後にテレビをつけて目に飛び込んでくる状況には言葉を失うばかりでした。

奏でる文明、摂理に沿って逆らわないで共存する文明を作り直すきっかけになるように、今回の震災を捉えられないかと思えます。あの時を契機に日本はかわったよねって後々語り継がれるきっかけになるよう、ターニングポイントにしたいですね。日本のみならず世界的にみても非常に大きな問題である環境・エネルギー・食料・ゴミ等といった自然と関わった諸問題や、物に囲まれ便利さ一辺倒を求めてきた生活の中の価値観を見直すきっかけ作りになっていくことを期待します。開発↓保全。効率化・利便性↓真の豊かさの追求。地産地消。東京一極集中↓地方自治・多極分散。大きなパラダイムシフトが今こそ必要なんじゃないだろうか？いや今がその最大のチャンス。雨降って地固めようじゃありませんか。深刻な問題として未だ終息の目途の立たない原発の問題にしても、これまで推進してきた純粋な部分の考え方として、貧しさからの脱却が開発の思想と連動して肯定されてきたと思えます。勿論それらを押し進めてきた中には、企業・政治家等の利権がらみが大きい部分を占めているのかもしれないが、日本人は貧しさから抜け出したかったのでしょ。

“豊かさ”のイメージがどこかで少しズレてきたんじゃないだろうかと思えます。

今一番大切でみんなが願っていることは、何より福島第1原発の安全な状態での終息です。命がけで努力を惜しまず働いておられる東電職員・関係者の皆さんには頭が下がります。しかし、国・東電の努力が実を結び、事態が一応の収束を向かえたならば、良かったよかった、めでたしめでたしで終わらせるわけにはいかないでしょう。責任の所在をあいまいにしままま先に進むことを許してはならないと思えます。国内の英知を集めて推し進めた原発が、“たまたま間の悪いことに、千年に一度の自然災害に襲われたのだから仕方がない”という理屈を、我々国民は通してはいけないと思えます。仮に善意に満ちた利便性追求の旗印の下スタートした原発であっても、なぜこのような災厄となったのか？隅から隅までみんなが理解できるような形で起きたことを明らかにすることが最低条件で、その後原発に関しての様々な議論により、日本国民全体での合意を改めて作って行く必要性を強く思います。

”危険”という言葉を英語で表現

すると沢山単語が出てくるようです。リスク(Risk)とデンジャー(Danger)の勘違いがないようにしないとイケません。リスクは管理できるものと我々は教えられてきました。しかし、デンジャーは逆らってはならないもの・回避しなければならぬものだと思います。原発はリスクなのか、デンジャーなのか？ですね。

一般の被災者の不便も勿論ですが、様々な障害をお持ちの方々の置かれている状況には、心が重たくなります。避難所に入れない障害のある方が多くいるともききます。普段のつながりが生きてくる。障害のある方にとっての防災とはの質問に“地域づくりが何よりの防災”と現場からは聞こえてきます。京都市を通じての派遣要請依頼にも事業所をあげて応えていきたいと思えます。そんな中、おかげさまで私自身に全くと言っていいほどダメージはありません。じゃあ、私にできることはなんだろう？皆さんもそれぞれ真剣にお考えだと思えます。結論からいえば、なるべく今までと変化なく生活するようにすることではないかと私は思っています。もちろん、節電もしなければならぬし、募金なども出来る限り頑張りたいです。可能な方はボ

ランティアに参加することも必要だろうと思えます。しかし、私には私のやらなければならぬことがあり、それをやっていく意志を押し通していかなあかんと思っています。私自身の中では、あの時から確実に変化が起こっています。物欲にまみれたあさましい半生を悔い？？真の豊かさとはを問い、家族との絆を噛みしめ、・・・日々価値観の再生に努力・・・です。これからも時間の経過とともに忘れることなく、被災者の皆さんと心共にありたいと願っています。

## ■京都市急病診療所の 診療時間拡大

平成23年4月1日(金)から京都市急病診療所(京都府医師会館1階)の小児科、内科について診療時間が拡大になりました。詳しくは京都市ホームページをご覧ください。  
お問い合わせください。

京都市情報館

URL:<http://www.city.kyoto.lg.jp/>

TEL:075-354-6021

# ふらっぶのたより

新年度スタートして一ヶ月半が経ちますが、みなさんと早々とあちこち足を運んでおります！春らしくそれぞれに手作りサンドウィッチを持って植物園へお花見にいきました。大きなレジャースイッチを広げてみんなでサンドウィッチをほおばりました。手作りのものをわいわい外で食べるというの、雰囲気も手伝って格別に美味しかったです。



植物園は桜が満開！他にもチューリップやアネモネ、スイセンが力いっぱい、また奥ゆかしく、いろいろな咲きようで、みんなの目を楽しませてくれました。今度は新緑が出迎えてくれます☆新しい季節もたくさん出かけたいと思います！！

## 災害時の備えについて

社団法人日本自閉症センターのホームページ上からダウンロードができる「自閉症の人たちのための防災ハンドブック」というものがあります。その中で「助けてカード」というものもあって、簡単なサポートブックのようなものなのですが、いざというときの備えに作成されてもいいかもしれません。発達障害情報センターのホームページには、発達障害の方へ支援する方向けの情報もわかりやすく掲載されていますので、一度ご覧になってみてください。

※発達障害情報センター

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

## ～春休み・子どもたちと一緒に～

■たこ焼きパーティー  
4月4日(月)に学齢期の子どもさんたちと一緒にたこ焼きパーティーをしました。たこ焼きの準備ができるまでは、真っ白のパズルにマジックやクレヨンでひとつだけのパズル♪を作っていました。後は、お待ちかねのたこ焼き！どの子どももハフハフしながら珍しいバラエーションたこ焼きに舌鼓を打っていました。

午後からは高野の障害者スポーツセンターへ移動して、ふうせんバレー☆3チームに分かれての対抗戦をしました。なかなかの盛り上がりで楽しく過ごすことができました( ^-^ )

## 京都市動物園 新・おとぎの国オープン☆

京都市動物園(左京区)で、動物に直接触れることができる施設「おとぎの国」が4月16日、リニューアルオープンした。



多くの親子連れが開園から詰めかけ、ヤギやヒツジの頭や背中をなでて、動物との触れ合いを楽しんだ。

市は新動物園構想に基づき段階的な改装を進めている。新おとぎの国は旧施設の約2.5倍となる約2600平方メートルの敷地に、家畜に触れられるグラウンドやペンギンが泳ぐプールなどを設けた。新たに仲間入りしたレッサーパンドの雌「古都」も公開され、注目を集めた。

引用京都市情報館より

# ■ふらっぶの動き

そうなんや!

その他の部分で、  
月毎に取り組んでいる仕事をピックアップしてみました。  
研修・意見交換などを主に記しました。

## ◇お知らせ

産休に入っておりました山本梢が4月18日(月)から復帰いたしました。引き続きよろしくお願いたします。

- 12月 ☆14・18・23日：ヘルパー連絡会
  - 1月 ☆18日：右京連絡会  
☆19日：かしの木学園  
&ふらっぶ調整会議
  - 2月 ☆15日：法人職員新春の集い  
☆14日：西部自立支援協議会  
☆26日：ヘルパー総会・講演会
  - 3月 ☆22日：京都市移動支援従事者  
短期養成研修  
☆28日：京都市移動支援従事者  
短期養成研修
  - 4月 ☆17・26・28日：ヘルパー連絡会
- ※この他にも、毎月法人全体の管理者会議や理事會などが定例で行われています。

## 新入職員



4月よりふらっぶ職員として働かせて頂いています。塩野智史と申します。以前より登録ヘルパーとしてやってきましたので顔見知りの方も多々と思います。趣味は写真を撮るのが好きで、休日にはカメラを持って京都をぶらぶらしています。先日も八幡市の背割り堤の桜を見してきました。良い所があれば教えて下さい。初心を忘れず笑顔で楽しくやっていきたいと思っております。よろしくお願致します。

塩野 智史

## ぐ報告

いつもお世話になっております。私事で恐縮ですが、この場を借りてご報告させていただきます。このたび4月に入籍させていただき、「三宅」改め「片岡」となりました。新生活が始まり、私の中では、あまり大きな変化はないですが、一人暮らしの時と比べ、家事をしつかりやらなきや!と頑張っております。サボることも多々ありますが、これからは変わらぬので、今後ともよろしくお願致します。

片岡 優子

## 編集後記

少しずつ暖かくなってきたようですが、まだまだ日が落ちたり、雨が降った後は、肌寒くて、上着を着て手袋(軍手)をはめて、バイクにまたがっております。梅雨入りするまでは、お出かけ日和がやってくるね。私も自然を肌で感じられるように普段見ないところ、気にしないところを気にしながら歩こうかなと密かに思っております。

新年度始まりふらっぶも新しいメンバーを迎えました。23年度気持ち新たに、また皆さんと過ごしてまいりたいと思っております。新米編集長ですが、どうぞよろしくお願いたします。